

塗料性状

項目	内容
色相	ブラック
比重g/cm ³	1.10±0.05
不揮発分(%)	46±3

関連法規

危険物表示	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照
劇物表示	—

使用上の注意

引火性の液体で、危険有害性情報のある物質を含有していますので、取り扱いには下記の注意事項を守って下さい。
※詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

- 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
- 吹き付け中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行なって下さい。
- 製品の付いたウエスや製品カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
- よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
- 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
- 本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処置

- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
- 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 皮ふに付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

⑥⑦

※本カタログに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。
※本製品の内容は予告なく変更することがあります。

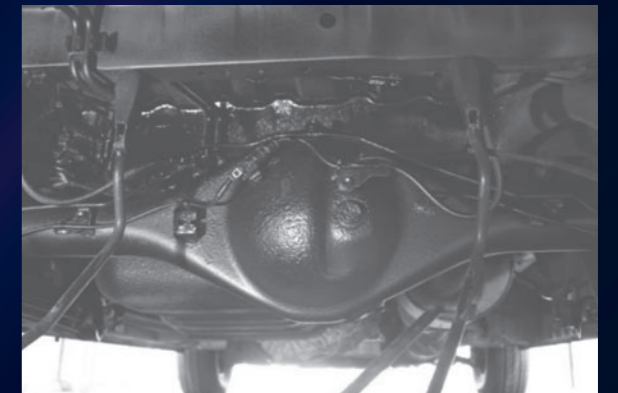
塗料性能

製品性能試験については、標準膜厚(50μm)での値となります。

試験項目	結果	試験条件
吹付け後の外観	光沢	耐セミグロス(半艶消し) 光沢計 40±10
	色	黒 目視
耐衝撃性	50cm	1/2インチφ×500g
耐屈曲性	合格	9mmφ 屈曲試験器
耐寒熱サイクル	30サイクル以上	-30℃×1時間⇄60℃×1時間を1サイクル
耐水性	異常なし	水道水浸せき 20℃×30日
耐塩水噴霧性	異常なし	5%塩水噴霧 50℃×30日(720時間)
耐油性	部分溶解	エンジンオイル浸せき 50℃×3時間
耐酸性	異常なし	1/10N H ₂ SO ₄ 浸せき 20℃×7日
耐アルカリ性	若干の艶引け有り	1/10N NaOH浸せき 20℃×7日

Auto OKI-SEAL SE

オート オキシール SE(エスイー) 高性能防錆剤



DNT 大日本塗料株式会社

●東日本販売部

東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23(TOKYU REIT 蒲田ビル)
札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所 ☎022-236-1020 ☎983-0034 仙台市宮城野区扇町5-6-20
北関東営業所 ☎0285-24-0123 ☎323-0025 小山市城山町2-10-14(日光堂ビル)
埼玉営業所 ☎048-601-0711 ☎330-0843 さいたま市大宮区吉敷町4-261-1
新潟営業所 ☎025-244-7890 ☎950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-54(日生南笹口ビル)
千葉営業所 ☎043-225-1721 ☎260-0015 千葉市中央区富士見2-7-5(富士見ハイネスビル)
神奈川営業所 ☎042-786-1831 ☎252-0233 神奈川県横浜市中央区能登台1-7-7(トラス・テック相模原ビル)
静岡営業所 ☎054-254-5341 ☎420-0857 静岡市葵区御幸町8(静岡三菱ビル)

自動車補修チーム

●大阪 ☎06-6266-3135 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11(SRビル長堀)

●西日本販売部

大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11(SRビル長堀)
名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14(金山総合ビル)
富山営業所 ☎076-444-5260 ☎930-0005 富山市新桜町6-15(Toyama Sakuraビル)
京滋営業所 ☎075-595-7761 ☎607-8085 京都市山科区竹鼻堂/前町46-1(大樹生命京都山科ビル)
神戸営業所 ☎078-362-0091 ☎650-0025 神戸市中央区相生町1-2-1(東成ビル)
岡山営業所 ☎086-242-1850 ☎700-0953 岡山市南区西市801-2
広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
高松営業所 ☎087-869-2585 ☎761-8075 高松市多肥下町1511-1(サンフラワー通り東ビル)
福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5
長崎営業所 ☎095-824-3457 ☎850-0033 長崎市万才町3-4(長崎ビル)

塗料相談室フリーコール 0120-98-1716 <https://www.dnt.co.jp/>

DAI NIPPON TORYO CO.,LTD.

DNTインターネット配合検索システム <http://www3.dnt.co.jp:8081/dnt/dnt100.jsp>

大切な愛車を長く乗っていただくために、下回り(シャーシ・床裏・足回りなど)を塩害腐食から護る必要があります。大日本塗料のシャーシ用防錆剤「Autoオキシール」は、年間を通じて塩害による腐食が問題になる離島および沿岸地域にて使用される車輛、機械などの金属部の防錆に威力を発揮しています。

「AutoオキシールSE(セカンドエディション)」は、防錆力、密着力の大幅UP、さらに乾燥性を向上させたことで、寒冷地などでも素早く納車できるようにパワーアップして登場しました。半乾燥性なのでさびの上からでも施工でき、通常の硬い塗膜のようなひび割れなどの心配もありません。

車輛下回りのさびの要因

融雪剤

塩害地域

酸性雨・泥はね

塩害地区にて5年使用した車の下回りはここまでさびる

融雪剤などでこんなにさびています

車輛などの使用頻度に応じて定期的なメンテナンス(再吹付け)をしていただくことで長期に渡り防錆効果を発揮します。目安として1~2年毎の施工をおすすめします。寒冷地では冬シーズン前に施工することで効果が高まります。



さびの進行によっては継続検査(車検)をクリアできないこともあります。



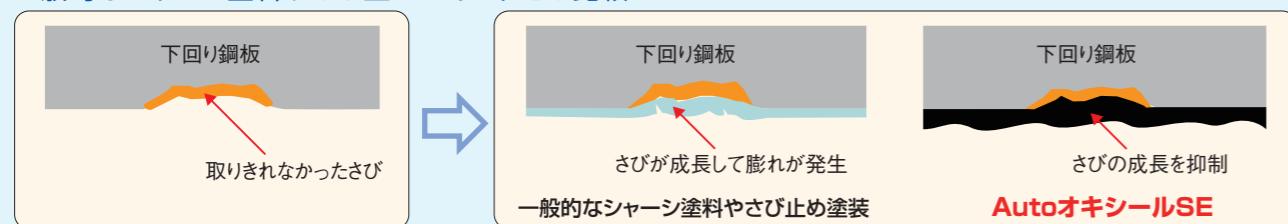
施工例

取りきれなかったさびの上からでも吹付け可能で、さびの進行を抑制します。(シュツガンにて吹付け施工)

特長

- **優れた防錆効果を発揮**
防錆効果の高いワックス系防錆剤を使用しているため、上塗りを塗装する必要がありません。
- **硬化しない(半乾燥性)のため、石跳ねなどにより被膜に傷が付いても広がりにくい**
AutoオキシールSEは取り残したさび上での割れやはがれを防止するため、乾燥後もやわらかい状態を維持するよう設計されています。
- **防錆剤としては作業性、特に乾燥性に優れ、出庫までの時間が大幅に短縮(当社比)**
- **コールドタール・鉛などの有害物質を含まない**
- **軽重なさびの上からでも施工可能**
※浮いたさびや塗膜は、皮すきやワイヤブラシなどで極力落として下さい。

一般的なシャーシ塗料やさび止めペイントとの比較



用途

- ① 各種車輛などの下回り防錆
- ② 港湾で使用される産業機械の鉄部の防錆



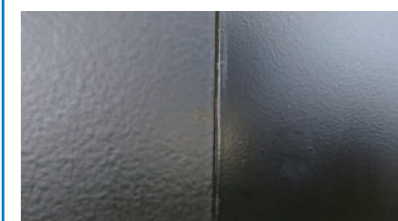
使用方法

		1液型	
使用可能なシンナーの種類		上塗り用のラッカーシンナーもしくは塗料用シンナー(塗料用シンナーを使用した場合は乾燥時間が遅くなりますので事前確認の上、環境に応じてご使用下さい。)	
標準希釈率		0~20%(希釈しすぎると膜厚が付きにくく、タレやすくなります。)	
標準吹付け回数		2回以上(最低膜厚50μmを確保して下さい。) 但し、一度に極端な膜厚を付けたら乾燥時間が遅くなります。	
乾燥時間	温度	20℃	60℃
	指触	30分	—
	半乾燥	120分	30分 ^{※1}
吹付け器具		エアレススプレー、シュツガン、エアスプレー ※エアスプレーは高粘度用の口径の大きい圧送式を推奨します。	

※1 60℃乾燥直後の取り出しの際は、塗料が軟化しておりますので、常温に戻るまでは塗膜に触れないようにご注意ください。また、乾燥後も塗膜のベトツキは残ります。

推奨塗装機

- ・シュツガン各種
- ・加圧コンテナ式スプレーガン(高粘度用)
- ・圧送式スプレーガン
- ・エアレス塗装機
- ・その他高粘度用ガン各種



一般的なシュツガン 圧送式スプレーガン + 加圧コンテナ

施工手順

● 下回りの洗浄および乾燥

● 浮きさびの除去
● ブレーキ部品やマフラーなどはマスキングを行って下さい。

※写真はシュツガンを使用
施工後
シュツガンまたはエアレスにて吹付け(エアスプレーガンは圧送式を推奨します。)

工程	作業内容	注意事項
1. 素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 汚れている場合は水洗い又はスチーム洗浄を行い、泥や不良塗膜などを除去して下さい。 ● 鉄部の浮きさび、溶接部のスパッタなどをワイヤブラシなどで取り除いて下さい。 ※すでに防錆ワックスやコールドタールエナメルなどが塗装されている場合でも吹付けすることができます。 ※シャーシ塗料などの上からでも、鉄素地の上からでも吹付けすることができます。 	融雪剤などは洗い流して下さい。
2. 脱脂清掃	<ul style="list-style-type: none"> ● 残った水分はエアブローなどでしっかりと水切りを行って下さい。 ● 浮きさび、スパッタなど除去部分は、可能な限り溶剤で脱脂を行って下さい。 	旧塗膜のチザミに注意して下さい。
3. 吹付け	<ul style="list-style-type: none"> ● タレに注意しながら最低膜厚になるまで吹付けします。 	最低膜厚50μmを確保します。
4. 乾燥	<ul style="list-style-type: none"> ● 常温(20℃)乾燥2時間以上 ● 強制(60℃)30分以上 	乾燥後も表面は柔らかいままです。

施工上の注意

1. 施工時は防塵服、防塵マスク(研磨時)、防毒マスク、手袋、保護メガネ、帽子、ヘルメットなどを必ず着用して下さい。
2. 車体下部にて作業する場合は必ず安全確認および換気を行って下さい。
3. 上塗りを塗装するとワックス分の再溶解により上塗りへのじみやはがれに繋がりますのでご注意ください。